

第12回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

【委員会の主旨及びこれまでの取り組み経緯】

足羽川ダム建設事業における環境調査及び環境保全措置について、専門家の意見を伺うことを目的に平成26年3月「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を設立。

これまでに11回の委員会を開催し、足羽川ダム環境モニタリング計画や環境保全措置の計画についてご意見をいただき、ダム建設事業への進捗に合わせて環境保全に取り組んでいます。

【第12回環境モニタリング委員会 開催概要】

令和6年3月13日に足羽川ダム工事事務所において開催。

委員会では、令和5年モニタリング調査結果と環境保全措置の内容及び令和6年モニタリング調査計画（案）についてご意見をいただき、今後の調査及び環境保全措置の実施計画が確認されました。

委員会開催状況



福原委員長 挨拶



委員会開催状況

委員名簿（敬称略、五十音、◎委員長）

氏名	担当分野	現職等
奥村 充司 おくむら みつし	水環境	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
久保上 宗次郎 くぼかみ そうじろう	鳥類 生態系	猛禽類研究家
◎ 福原 輝幸 ふくはら てるゆき	水環境	福井大学 名誉教授
松田 隆喜 まつた たかき	魚類	道守高等学校 教諭
水口 亜樹 みずぐち あき	植物	福井県立大学 生物資源学部 創造農学科 准教授

第12回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

I. 事務局からの報告

- ・ 委員からの意見に対する対応状況について
- ・ 令和5年モニタリング調査結果と環境保全措置について
- ・ 令和6年モニタリング調査計画（案）について

II. 委員会での意見

委員からの意見は以下のとおりです。

委員からの意見
移植関連地域の土壌・水質環境に対して工事の影響がないか、モニタリングを実施すること。
クマタカ幼鳥の行動範囲の把握に努めること。
クマタカの定点調査について、調査時期や時間帯を状況（繁殖ステージや天候）に応じて、可能な範囲で適切に設定したうえで実施すること。
アジメドジョウの調査について、70 m ³ /s 未満の洪水時でも実施すること。 あわせて、水質（濁水）の調査も実施すること。
河床材料の調査にあわせて、流下物の調査を実施すること。

III. 今後の予定

- ・ 本委員会の委員からの意見に対して、今後対応を行い、次回の委員会で対応状況を回答する。
- ・ 令和6年モニタリング調査計画に基づきモニタリング調査を実施する。
- ・ 工事やモニタリング調査の実施状況を適宜委員に報告のうえ、ご指導・ご助言を仰ぎながら必要に応じて速やかな対応を行い、環境保全上の影響を極力小さくするように努める。
- ・ 工事の進捗状況を踏まえ、現地視察等を実施したうえで、環境保全措置の実施状況等について、委員から意見を伺うものとする。